

アニコムと東急不動産、ペットとの暮らしをより豊かにするための業務提携を開始

ペット保険シェア No.1^{※1}のアニコム損害保険株式会社（代表取締役 野田 真吾、以下 アニコム損保）は、東急不動産株式会社（代表取締役社長 岡田 正志、以下 東急不動産）と、ペットとの暮らしをより豊かにするための業務提携（以下 本業務提携）を開始しましたので、お知らせいたします。

（※1）シェアは、各社の2021年の契約件数から算出。（株）富士経済発行「2022年ペット関連市場マーケティング総覧」調査



東急不動産

■ 本業務提携の背景

「ペットは家族の一員」という考えの広まりや、コロナ禍における「おうち時間」の増加により、ペット需要は高まりをみせています。ペット関連総市場規模は2021年度に1兆7,187億円となっており、2024年度には1兆8,370億円が見込まれています^{※2}。住まいにおいても、ペットの家族化が進んだことで、単なる「ペット可」住宅を超え、人とペットが共に健康で幸せに暮らせる「共生型」住宅が関心を集めています。

これまでアニコム損保では、ペット共生型の賃貸マンション「アニコフローラシリーズ」(https://www.anicom-sompo.co.jp/anicoflora/higashi_nakano/)を展開するなど、ペットとの暮らしを豊かにする住まいの提案を行ってまいりましたが、こうした取り組みをより一層強化すべく、本業務提携の締結に至りました。

（※2）出典：矢野経済研究所「ペットビジネスに関する調査を実施(2022年)」https://www.yano.co.jp/press-release/show/press_id/3053

■ 本業務提携による具体的な取り組み

アニコム損保と東急不動産では、以下の業務を協力して推進してまいります。

- ① アニコム損保と東急不動産相互の顧客に向けた商材紹介・価値提供
- ② 東急不動産の物件におけるアニコム損保ほかアニコムグループのサービス利活用
- ③ ペット共生型マンションをはじめとする各種物件の共同検討・開発 等

■東急不動産のペット特化型ルーム

東急不動産が開発・運営している都市型賃貸レジデンス「コンフォリア高島平」にて、2023年1月から新たにペット専用住戸の提供を開始しています。大型犬の飼育可能やペットの同居数制限を3頭までにするなど管理規約を改定するとともに、傷がつきにくいペット用フローリングの採用、ドッグランやペット用品が洗えるコインランドリーの設置など、ペットとの暮らしがより豊かになるレジデンスとなっています。また、ペット可マンションでの暮らしにおける注意事項やルールを、ペットマナー動画として住民へ提供する施策も実施しています。



▲「コンフォリア高島平」の外観、ペット専用住戸の内装

アニコム損保では、これらの住居をはじめとする東急不動産の物件において、専門家相談サービスや健康チェックサービスなどアニコムグループのリソースを活用した各種サービスやコンテンツの提供を検討・実施するとともに、新たなペット共生住宅の開発を通じて、ペットとその飼い主の暮らしを支えてまいります。

■各社概要



- ・会社名：アニコム損害保険株式会社
- ・代表取締役：野田 真吾
- ・所在地：東京都新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー39階
- ・事業内容：損害保険業（ペット保険）



- ・会社名：東急不動産株式会社
- ・代表取締役社長：岡田 正志
- ・所在地：東京都渋谷区道玄坂 1-21-1 渋谷ソラスタ
- ・事業内容：総合不動産ディベロッパー

【お問い合わせ先】

アニコム損害保険株式会社 広報担当

〒160-8352 東京都新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー39階

MAIL : pr@ani-com.com